

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー

合成樹脂エマルジョンペイント 1 種認証取得製品 (サニービルド EX)

合成樹脂エマルジョンペイント 2 種認証取得製品 (サニービルド IN)

防火認定材料 (NM-8585/ 不燃、QM-9816/ 準不燃、RM-9364/ 難燃)

合成樹脂エマルジョンペイント

サニービルド® EX/IN

使いやすく、抜群の仕上がり性を持つ

経済的なフラットペイント

サニービルドは、耐水性や耐アルカリ性に優れると共に、肌触りの良いシックな仕上がり感が建物を美しく彩ります。また、作業性や隠ぺい性に優れ、安全で取り扱いが簡単なうえ、TVOC (総揮発性有機化合物) の含有が 1%未滿のため、環境にも人にも優しい塗料です。なお、内部用の「サニービルド IN」、内外部用の「サニービルド EX」の二種類をご用意しています。

■特長

良好な仕上がり

艶むらがなく、肌触りの良いシックな仕上げになります。また、ローラーパターンや刷毛目も殆ど目立ちません。

高隠ぺい性

一度の塗装で優れた隠ぺい性を示すため、塗りむらや透けの心配がありません。

優れた作業性

ローラーや刷毛塗り作業性に優れています。

安全性

水性のため臭気が少なく、安全で火災の心配がありません。また、取り扱いも非常に簡単です。

低 TVOC

TVOC 1%未滿で、シックハウスの原因物質とされている揮発性有機化合物をほとんど含まない安全設計です。

(下塗りに使用する S K 水性ホワイトシーラーも TVOC 1%未滿であり、且つ、ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ の設計です。)

TVOC
1%未滿

非トルエン・キシレン塗料



■性能試験成績表

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイントによる物性試験

塗料の種類	サニービルド EX	サニービルド IN※1	品質※2
種類	1種	2種	JIS K 5 6 6 3 1種 主として屋外用 JIS K 5 6 6 3 2種 主として屋内用
容器の中での状態	合格	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性 (-5℃)	合格	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	5℃	合格	4時間以内
塗膜の外観	合格	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率% (白及び淡彩)	合格	合格	93 [95] 以上
耐水性	合格	—	(水に) 96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	合格	(水酸化カルシウム飽和溶液に) 48時間 [18時間] 浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	合格	500回 [100回] の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	—	(キセノンランプ240時間照射後) 異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	—	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白垂化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

※1: —は該当項目なし

※2: []は JIS K 5663 2種の規定数値

■荷姿

S K 水性ホワイトシーラー

18kg 石油缶 (標準塗坪: 138 ~ 180 m² / 缶)

サニービルド IN (内部用) / 艶消しのみ

20kg 石油缶・4kg 缶 (標準塗坪: 66 ~ 80 m² / 20kg 缶・13 ~ 16 m² / 4kg 缶)

サニービルド EX (内外部用) / 艶消しのみ

20kg 石油缶・4kg 缶 (標準塗坪: 66 ~ 80 m² / 20kg 缶・13 ~ 16 m² / 4kg 缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状況や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■適用下地

セメントモルタル、コンクリート、せっこうボード、各種ボード、各種旧塗膜の塗り替えなど

■用途

学校、ビル、マンション、住宅、ホテルなどの新旧内外壁面

■標準塗装仕様

(23℃)

【内装仕様】

工程	材料	調合(重量比)	所要量 ^{※1} (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
素地調整 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。									
1	※2.3 下塗り	SK水性ホワイトシーラー	100	0.10~0.13	1	-	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清	水	0~20	-					
(2)パテかい磨 ●仕上げ用パテを使用し、凹部を中心にへらでパテかいしてください。 ●P220~240のサンドペーパーでパテがい部を中心に均一に研磨してください。									
3	※6.7 上塗り	サニビルドIN	100	0.25~0.30	2	2以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清	水	5~15	-					

(23℃)

【外装仕様】

工程	材料	調合(重量比)	所要量 ^{※1} (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考	
					工程内	工程間	最終養生		
素地調整 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。									
1	※2.3 下塗り	SK水性ホワイトシーラー	100	0.10~0.13	1	-	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清	水	0~20	-					
2	※6.7 上塗り	サニビルドEX	100	0.25~0.30	2	2以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
	清	水	5~15	-					

- ※1.「所要量」は塗装条件等により異なりますが、被塗面に付着させる塗料の「標準塗付量」は、SK水性ホワイトシーラーで0.08~0.10kg/m²、サニビルドIN/EXで0.22~0.24kg/m²となります。各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。
- ※2.下地の状況に応じて下塗材の選定を行ってください。詳しくは、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ※3.SK水性ホワイトシーラーの清水での希釈率は、刷毛、ローラー塗り時で「0~10」、スプレー塗り時で「10~20」となります。下塗りには、この他水性ミラクシーラーエコ(クワイヤー・ホワイト、15kg石油缶)もご使用頂けます。
- ※4.仕上げ用パテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りを行い、十分に確認した上で本施工に入ってください。
- ※5.パテがい部が他の面と比べ吸い込み差を生じるおそれがある場合は、パテがい部を中心に下塗材を塗付してください。
- ※6.サニビルドEX、INの清水での希釈率は、刷毛、ローラー塗り時で「5~10」、スプレー塗り時で「10~15」となります。なお、下地の状態により希釈率が変化することがあります。ご了承ください。
- ※7.上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。なお希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 注1) 防火認定は、コンクリート、モルタル、せっこうボードなど防火性能がある下地に対して有効となります。なお区分は、下地の性能に応じて「不燃」「準不燃」「難燃」となります。
- 注2) 防火認定仕様、または公共建築工事標準仕様(新築・改修)につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。なお、防火認定仕様は塗付量が基準となります。「塗付量」は、「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「所要量」とは意味合いが異なりますのでご注意ください。

■施工上の注意点

- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、野間気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- やむを得ず付着している場合は、中性洗剤など(やむを得ず付着している場合は、アルカリ性洗剤など)で拭き取った後、あらかじめSK水性ヤニ止めシーラー(15kg石油缶)を塗付してください。
- かびが付着している場合は、SK Kカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 材料は、使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 水性ミラクシーラーエコやSK水性ヤニ止めシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈率等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所が艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 塗装養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
- 陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。

■施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■危険情報と安全対策

製品の取扱いは、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。



エスケー化研株式会社

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

- 本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
 東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6801 国際事業本部 ☎072-621-7727
- 札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
 仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
 東京支店 ☎03-3204-6801 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411
- 旭川営業所 ☎0166-51-8094 水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-254-3777 松山営業所 ☎089-958-3780
 仙台営業所 ☎022-259-2431 宇都宮営業所 ☎028-657-5555 横浜支店 鶴岡 045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
 仙台支店 鶴岡営業所 ☎022-388-9519 秋田第一支店 ☎03-3204-6801 厚木営業所 ☎046-294-3686 大阪支店 豊中 072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
 青森営業所 ☎017-762-3855 東京支店 豊中 03-3204-6802 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福徳支店 豊中 092-622-5562
 盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-462-7021 神宮支店 豊中 078-686-0520 大分営業所 ☎097-555-9081
 郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉支店 船橋 043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路営業所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-887-0871
 新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
 群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉支店 豊中 048-686-1586 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島営業所 ☎082-943-5043 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
 長野営業所 ☎026-239-6210 岐阜営業所 ☎03-3877-7770 岐阜支店 豊中 052-589-8783 広島支店 豊中 082-943-5053 鹿嶋出張所 ☎0985-61-7779
 松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 山口営業所 ☎083-924-7575 沖縄営業所 ☎098-862-5041
- 大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2019年8月](190815.GP-2)